



東日本大震災8年

ミホプロジェクト祈りのコンサート

ひまわりの丘

福島の子どもたちとともに

2019年3月11日<月>

昼の部 14:30~ [開場14:00]
小栗献牧師のメッセージ/14:46の黙祷
70分のコンサート

夜の部 19:00~ [開場18:30]
90分のコンサート

日本基督教団 神戸聖愛教会

神戸市中央区生田町1-1-27 〒651-0092
新神戸駅より徒歩3分/三宮駅からバス2系統「布引」下車

前売2,000円/当日2,500円

中高生1,000円/小学生以下無料

コンサートの収益は福島の子どもたちのために使われます
全席自由

【予約・問合せ】

ジョイントチーム tel. 090-1678-0609<木田>

ミホプロジェクト tel. 03-6317-8916<ベアータ>

e-mail: mihomihoproject@gmail.com

《曲目》

メンデルスゾーン(1809-1847):
『聖パウロ』より「エルサレムよ!」

J. S. バッハ(1685-1750):
無伴奏チェロ組曲 第6番より サラバンド

アラン(1911-40): フリギア旋法のバラード

近藤浩平(1965-): 海辺の祈り 作品121 ※夜のみ

フォーレ(1845-1924): ロマンس 作品69 ……ほか



信木美穂

Miho Nobuyuki

画/詩/朗読

3.11直後に法律家らとともに〈東京災害支援ネット〉を設立し、避難者支援を開始。その後、子どもと家族の支援を行う〈きらきら星ネット〉を立ち上げ、日常生活サポートに加え、保養プログラムなどを行っている。福島の子どもたちから強いインスピレーションを受け、詩画集『ひまわりの丘』を上梓。ミホプロジェクト主宰。

木田いずみ

Izumi Kida

ソプラノ

1999年まで淡野弓子指揮〈ハインリヒ・シュッツ合唱団東京〉に在籍、ドイツバロックの宗教作品を中心に合唱と声楽アンサンブルを学ぶ。2001年よりア・カペラグループ〈アンサンブルQ〉を主宰、自主公演のほか各地の教会などで演奏。近年はドイツ歌曲に取り組み、軽やかな声と繊細なドイツ語表現で好評を得ている。

富田牧子

Makiko Tomita

チェロ

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。ハンガリーのリスト音楽院にて、メズー・ラースロー氏に師事。ソロリサイタルのほか、小編成のアンサンブルを中心に活躍。ガット(羊腸弦)を用い、ピリオド奏法を始めて、より深い音楽と楽器の理解を探求中。室内楽の楽しさを伝える活動をライフワークとしている。

原田靖子

Yasuko Harada

オルガン

東京藝術大学作曲科、オルガン科卒業。オルガンを深井李々子、廣野嗣雄、早島万紀子の各氏に師事。立教学院アシスタント・オルガニストなどを経て、2014年春、松本市音楽文化ホールオルガニストに就任。豊かな音楽性と自由な発想力により、ユニークなコンサート企画を展開、松本からオルガンの新しい息吹を発信している。

ミホプロジェクトは…

2012年から続けられている福島の子どもたちのためのチャリティコンサート・プロジェクトです。

コンサートの中心に据えられるのは信木美穂の絵と詩。これは、震災直後から避難者支援に奔走してきた信木が、福島の子どもたちと過ごすうちに、幼い彼らの親にも言えない本音や、大人の嘘を見つめる真っ直ぐな心に触れ、やむにやまれぬ思いに駆られて編んだ詩画集『ひまわりの丘』に収められているものです。

コンサートでは絵をスクリーンに映しながら信木自身が詩を朗読、これに古今の祈りの音楽の演奏を織り合わせ、全体として現代のオラトリオともいえるべきプログラムになっています。

東日本大震災から8年となるこの日。福島第一原発の事故によって起きたことを今一度心に刻みつつ、お集まりいただいた皆様とひと時、祈りを共にすることでできれば幸いです。

コンサートの収益は、福島の子どもたちのために兵庫県で続けられている以下のプロジェクトに寄付します。

“ふっこうのかけ橋” プロジェクト

福島の「ふく」と神戸の「こう」をあわせて「ふっこう」——カトリック神戸地区主催の保養プログラム。「放射能の心配をしなくていい場所で、子どもたちを思いやり遊ばせたい」というお母さんたちの声にこたえて2012年に始まった。神戸地区の子どもたちとの合同キャンプなどとして実施され、「ふっこう」の交流が行われている。

ふくしま・こうべ こどもプログラム

神戸市内にある日本基督教団の12の教会「FNH12」により2012年から毎夏開催されている保養プログラム。毎年数組の保護者と子どもを募集。一週間のプログラムには、様々なアトラクションに加え、丸2日間のフリータイムや医師による健康相談もあり。お母さんたちのリフレッシュにも力を入れている。

ワクワク淡路島 発見キャンプ

淡路島を拠点に放射能被ばくから子どもを守る活動を続けている福島ハーメルン・プロジェクトジョイントチームが毎年、春休みと夏休みに開催している一時保養キャンプ。初日に東神戸診療所で健康診断をすませてから淡路島へ移動、海や自然公園、プレイパークなどで存分に外遊びを楽しむ。

神戸YWCA セカンドハウスプログラム

「2011年に生まれた子どもたちが20才になるまで」を目標に被災者支援を続けている日本YWCAのプログラムのひとつ。会員から提供を受けた一軒家を神戸YWCAが運用、利用者は3泊4日以上1カ月まで自由に滞在できる。母子参加になりがちなキャンプ型の保養に対して、家族水入らずで過ごせるのでお父さんたちにも好評。

福島ヒカリノコども オレンジ基金

被ばくの影響が心配な人のために健康診断を提供する基金。東神戸診療所でいつでも無料で心電図・血液検査・エコー検査を受けられる。院長の郷地秀夫先生は被爆者医療の第一人者で、原発事故による被曝についても精力的に調査・研究を進めている。福島HPジョイントチームがオレンジコブからの寄付をもとに設立。

Thinking of Children of Fukushima
Miho Project Presents A Charity Concert

“Sunflower Hill”

Prayer with Picture, Poetry and Music

Monday, March 11, 2019

afternoon 14:30 / evening 19:00

English subtitle provided

at Kobe Seiai Church

1-1-27 Ikuta-cho, Chuo-ku, Kobe

Advance ¥2,000 / Doors ¥2,500

Ages 6-15 ¥1,000

Profits from this concert will be donated to the five projects that are supporting children of Fukushima in Hyogo Prefecture

後援: 神戸新聞社 ラジオ関西

カトリック社会活動神戸センター 神戸学生青年センター

神戸YMCA 神戸YWCA 日本基督教団 神戸聖愛教会

被災地NGO協働センター 東神戸診療所

みみをすます関西(保養実践交流会)

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部

協力: 福島ハーメルン・プロジェクトジョイントチーム

<http://www.hamelnjoint.com/>

主催: ミホプロジェクト

<https://mihoproject.wordpress.com/>



miho project

photo: 木田新一 design: 向井一貞

photo: 木田新一 design: 向井一貞



photo: 木田新一 design: 向井一貞

